

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	気候危機突破・森林のCO2吸収固定機能回復のための、第2回箕輪町西部地区環境シンポジウムと秋の連動イベント
事業主体 (連絡先)	西部山林環境改善保全会
事業区分	環境保全・景観形成
事業タイプ	ソフト
総事業費	756,500 / 円 (うち支援金: 582,000 円) /

- 小冊子・第2回「紙面環境シンポジウム」発刊 1600部
 - 箕輪町下古田公民館と下古田炭焼き場で秋の連動イベントを実施しました。
- 10月17日・10月31日炭焼き体験交流会
11月28日午前「災害に強い里山づくり実践報告会」
11月28日午後「自主映画祭・ミツバチの羽音と地球の回転」「鎌仲監督とトークタイム」
2月毎週末「炭焼き体験交流会」



【 実践報告会の様子】

【目標・ねらい】

- ①環境問題の識者の提言を共有
- ②里山づくり実践者の報告の共有
- ③樹齢更新の過程を共有
- ④CO2吸収と固定機能と炭の効果共有

※自己評価【 A 】

【理由】

- ・昨年度に続き2回目の紙面環境シンポの発刊ができた事。
- ・町・町教育委員会・区や環境保全団体との連携が深まった事。

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①町と町教育委員会の後援や支援を頂き、小冊子・第2回「紙面環境シンポジウム」発刊 1600部の発刊と秋の連動イベントを組み合わせた事で、町・区・環境保全団体との連携ができた。
- ②炭焼き体験・災害に強い里山づくり実践報告会・直根保育ブロック作成等実体験会を通じて相互の交流が深まった。
- ③自主映画祭と監督とのトークタイムを通じて世界のエネルギーシフトの状況と日本の環境問題の遅れについて意識する事ができた。

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ①令和4年7月発出予定の箕輪町「ゼロカーボンシティ宣言」の行動具体化に向けて提言活動を行いたい。
- ②支障木の枝を炭化させる取り組みを広げ、果樹園や町・学校等と連携して樹勢回復の実証実験を広げたい。
- ③箕輪町西部地区「まちやの里」に直根保育ブロックで育苗した樹木の植樹祭を開催したい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

- 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
- 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある